

令和4年11月15日

日立理科クラブ通信



No. 184

日立理科クラブ

理数アカデミー「キャリア学習会」

11月13日(日)午前、教育プラザで行われた理数アカデミー「キャリア学習会」を紹介します。

「キャリア学習会」では、中学2年の受講生、アカデミーの先輩、講師陣の皆さんの発表を通して、現在の勉強と将来の仕事との関係を知ったり、受講生たちの将来の進路を考えたりするヒントになることを目的として行われました。

最初に、中学2年「私の夢」の発表(5名の受講生)です。情報系の

仕事、助産師、住んでる街の魅力を海外に伝える仕事、地質学者、社会の課題を解決する仕事など、受講生の夢や希望を短い時間の中で端的に述べています。リモート参加の東京や大阪の受講生は、資料を使ってしっかりと自分の考えを述べていました。発表者たちは、自分の夢を実現するために、どんなことを学び、どんな能力を身に付けたいのかなど、将来の目標設計がきちんとしていることに驚きましたし、とても頼もしいです。



次は、理数アカデミー卒業の先輩「私の夢」の発表(7名のOB・OG)です。すでに就職している先輩、現役の大学生、高校生と、現在の立場から受講生に向けたメッセージが発信されました。直接、**会場に足を運んで発表した先輩**もあり、**和やかな雰囲気**の中での学習会になっています。特に、2011



年度卒の先輩が4名参加していて、お互いに懐かしそうに、オンラインの中で会話をしていました。システムインテグレーター、システムエンジニアなど、IT関連の企業に就職したり、教師になったりしている様子が紹介されました。現役の大学生たちは、学校で取り組んでいることや将来の夢などについて、自分たちが理数アカデミーで学んだことがとても役に立っていることを述べていました。高校生は、中学とは違う高校生活の様子や、高2に進学する際の進路選択で悩んでいることなどを述べていました。受講生たちにとって、年齢の近い先輩たちの話は、身近な将来の自分を考えることができる位置であり、とても関心を持って聞いている様子が伺えました。

最後は、講師陣のキャリア発表(8名)です。講師陣にとって、5分という発表時間はとても短かったようです。自分の生い立ち、生まれ育った故郷の様子、職歴、理数アカデミーでの様子などが次々と述べられていきます。

受講生へのメッセージでは、

・自分で考える習慣を ・自分のことを広く試そう ・チャレンジすることは大切
・自分の道は自分で開く ・自分の得意なことを見つける ・苦手な勉強やしたくない活動もやろう などと、講師の方たちの体験を通したキャリアの中からの言葉は、とても重い意味を持っていることを、受講生たちは、これからの人生の中で気づくことでしょう。

午後は、「自由研究コース」の受講生たち(11名)の発表が、プロジェクターとスクリーンを使って行われ、**「青少年のための科学の祭典」で使用したポスター**が会場壁面に掲示されていました。

